

別紙①：『入管オンライン申請システム』についての改善要望（提出：2022年12月15日）

項目	現事象	具体的な不便内容	改善要望
1 入力フォームそのものについて	生年月日がかかり1868年（寿命以上）から選択が可能	1990年代までスクロールするまでも長く、毎回非効率。	あまりにも非効率なため現実的な年数からの表示していただきたい
2 入力フォームそのものについて	申請人の国籍や、特定技能評価試験の受験地の国や地域 の選択がアルファベット順に並んでいる。 ※別添資料①参照	非常に探し難いだけでなく、実務に即していない。	「日本」を一番上に表示し、在留者の国籍TOP10から並んでいると効率的な作業になります 申請人の国籍選択はまだしも、特定技能評価試験の「受験地」においては実施していない国（実施の可能性が極めて低い国）も全て列挙されているため、無駄を感じざるを得ない。
3 入力フォームそのものについて	紙の申請書に無い情報を記入する欄がある（例：メールアドレス、納税額）	確認に時間を取られる。	定められているものだと思うので仕方ないですが、実務上は必須項目ではないことを理由に書かないことも多々あり、記入欄がある意味を考えてしまいます。
4 入力フォームそのものについて	選択（ラジオボタン）式の回答方法に「選択しない」「A」「B」とあった場合に、「選択をしない」が正しい回答の場合に、誤って「A」を選択した場合には修正ができない（チェックを外すことができない）。 ※別添資料②参照	初めから入力をやり直す必要があり、利便性を考慮した仕様になっていない。	修正が可能な仕様に変更。もしくは「該当なし」「有」「無」の3択にしてほしい。
5 入力フォームそのものについて	申請人の職歴・学歴の記入部分で2か所目以上の記入には「追加」ボタンを押して記入欄を増やす必要がありますが、追加ボタンを押すと画面上部に戻るため、欄を増やす度にその箇所までスクロールをしなければならない。	いちいち戻るのが煩わしいだけでなく非効率。利便性を考慮した仕様になっていない。	上部に戻ることなく、継続して記入ができるように。
6 入力フォームそのものについて	金額関係の単位が不揃い。「千円」単位、「万円」単位「円」単位と項目によってバラバラ。	ミスリードの仕様になっている。外国人には分かり辛い。	「円」にそろえるか、単位統一が適当です。
7 入力フォームそのものについて	記入箇所によっては全角でのみ入力をしなければならない。	半角スペースなど（見えないミス）が原因でエラーが出ててもエラー原因が分からないことがある。 外国籍の方は半角/全角に馴染みが無く、苦戦すると想定される。	外国籍の方に使用を拡大されるのであれば、慣れている半角を使用でき、全角でも半角でも認識できる仕様を望ましい。
8 入力フォームそのものについて	一括申請フォームが酷すぎる。 ※別添資料③参照	とにかく横長すぎるExcelシートため、画面に収まらず記入しにくいだけでなくわかり辛い。記入に40分～50分要す。	利用者目線にたっただけ、記入しやすく大幅に改善いただけると助かります。
9 システムについて	申請入力フォームに保存機能が無い	入力中に気になることや確認事項などがある場合、1回申請を取りやめ、確認後に再度記入する必要がある。非効率極まりない。	一時保存機能をつけて欲しい（当然、あるべき機能だと考えます）
10 システムについて	30分でセッションアウトになってしまう	電話対応や緊急対応をしている中で30分経過すると、入力を最初から全てやり直す必要がある。非効率極まりない。	一時保存機能をつけて欲しい（当然、あるべき機能だと考えます）
11 システムについて	申請や結果通知のメールでgmail宛が届きにくい	外国人の90%以上がgmailを使用しており、届かないことにより不安にさせてしまう。	外国籍の方に使用を拡大されるのであれば、国内のスタンダードになりつつあるgmailが届くようにするべき。（本人の申請エビデンスのためにも）
12 制度全般について	審査官は審査の過程で、申請書の代わりとなる必要情報画面も含めて全ての書類を印刷して紙で管理している。	審査業務に無駄な作業を要すことになり、審査期間を長引かせる要因になる。	結局全て印刷しているなら、入管では却って非効率な業務になっていることが想定されます。だったら今のシステム入力方式をやめて申請書をシンプルに添付するスタイルの方が効率的且スピード化になるのではないのでしょうか。
13 制度全般について	卒業見込み者のオンライン申請は、紙の申請時とは異なり、卒業証明書を追完しなければ結果受取の通知が到着しない。	『技術・人文知識・国際業務』などの場合は「卒業見込み」で申請をして、先にはがき（許可見込みの通知書）が届き、卒業後に在留カードを受け取る際に卒業証明書を提示して受け取るが、オンライン申請ではそれができない。卒業証明書を追完してからでないと言可をいただけない。学校によっては卒業式の日程が3月・9月20日以降で、4月1日・10月1日入社に間に合わない。よって実務上オンライン申請できない。	オンライン申請でも同じ運用（せめて窓口で卒業証書を提示。もしくは郵送交付の場合は卒業証明書の写しを同封）を希望します。 最も困ったのは、このフローについて窓口に関わらせても明確な回答が得られなかったことです。「オンラインも紙申請も運用は同じ」という言葉を信じて申請をした結果、危うく入社に間に合わなくなりそうになった事案がありました。
14 制度全般について	追加書類提出指示が申請人、企業、登録支援機関に届いてしまうことがある。 ※別添④参照	特に外国人ご本人の自宅に届いた場合、郵送物に気が付かない場合がある。	オンライン申請の制度の周知徹底が必要です。
15 制度全般について	申請者（取次者）が審査官からも分からない様子。 ※別添資料④参照	添付資料のような封筒が届くことがあり、未着の危険性がある。	入管内の制度の周知をお願い致します。 行政書士の情報によると、取次者の確認方法がよく分からない方がいるとのことです。
16 制度全般について	在留カードの裏に「申請中」のスタンプが押されない。	アルバイト先の会社が困惑し、出勤を止められる場合があるようです。職務質問の際に厳しく追及され半日拘束される時もある（特に特例期間中）。	せめて警察に対しての制度周知は徹底していただきたいです。
17 制度全般について	追完指示がメールで届いたり、書簡で届いたりして告知方法がまちまち	現在、普通郵便の到着が非常に時間がかかる一方で、その郵送期間は期日に加味されないため、十分な準備時間が取れない。	メールでの告知だと早く対応できてよいです。
18 制度全般について	追完書類の提出方法もメールと書類の2通りがある。	提出方法もどちらでも可能なことから、書類が到着したことの確認が遅れる原因になっている。	追完書類の提出から1か月が経過し、問い合わせたその日に許可をいただいたことがありました。（提出方法が2通りあるために、追完到着に気が付いていない可能性があるのではないかと？）
19 その他、審査官からの話	オンライン申請は不備が多くて大変。	本来、受理してはならない申請がオンライン申請では可能なため取下げをしなければならなかったり、紙の申請では事前確認をしている高度専門職の不備が多いとのこと。 そもそも問合せ確認した上でオンライン申請をしているのにも関わらず、その時の担当者の回答が間違っていたために申請の取り下げをしなければならないといったことがあった。	「オンライン申請」だからこそシステム内にて不備回避ができるはず。
20 その他	オンライン申請の場合の許可処分後の在留資格認定証明書や新在留カード等の返送処理に係る期間が3週間程度の期間を要している。	申請人にとっても受入機関にとっても不利益でしかない。	せめて、紙での申請時と同等期間に短縮して頂きたい。
項目	現事象	具体的な不便内容	改善要望

別添資料①：No.2について（国籍の選択が大変）

身分事項1(STEP2-1)

1 申請人の基本情報

(1) 国籍・地域 **必須**

選択してください。

選択してください。

- アフガニスタン Afghanistan
- アルバニア Albania
- アルジェリア Algeria
- アンドラ Andorra
- アンゴラ Angola
- アンティグア・バーブダ Antigua and Barbuda
- アルゼンチン Argentina
- アルメニア Armenia
- オーストラリア Australia
- オーストリア Austria
- アゼルバイジャン Azerbaijan
- バハマ The Bahamas
- バーレーン Bahrain
- バングラデシュ Bangladesh
- バルバドス Barbados
- ベラルーシ Belarus
- ベルギー Belgium
- ベリーズ Belize
- ヘナン Benin

申請人の国籍・地域だけでなく、特定技能評価試験の受験地もこの状態。せめて日本だけでも一番上に表示して欲しい。

別添資料②：No.4について（ラジオボタンを一度押すとキャンセルできない）

6 特定技能雇用契約に係る申込みの取次ぎ又は外国における活動準備に関する外国の機関への費用の支払について、その額及び内訳を十分に理解して合意していることの有無(当該費用の支払がある場合に入力)

- 有 Yes
 無 No

「有」を選択した場合に入力

外国の機関名

支払額（日本円に換算）

例)約〇〇円

徴収金額又は管理財産

6 特定技能雇用契約に係る申込みの取次ぎ又は外国における活動準備に関する外国の機関への費用の支払について、その額及び内訳を十分に理解して合意していることの有無(当該費用の支払がある場合に入力)

- 有 Yes
 無 No

「有」を選択した場合に入力

外国の機関名

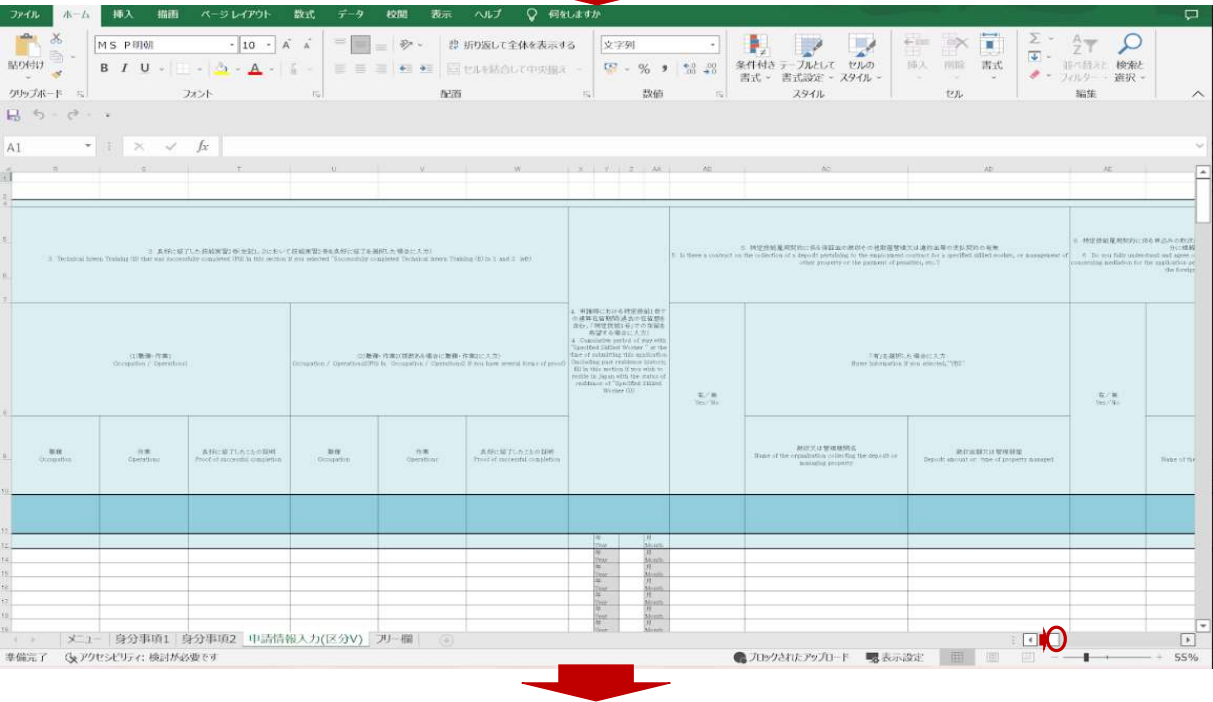
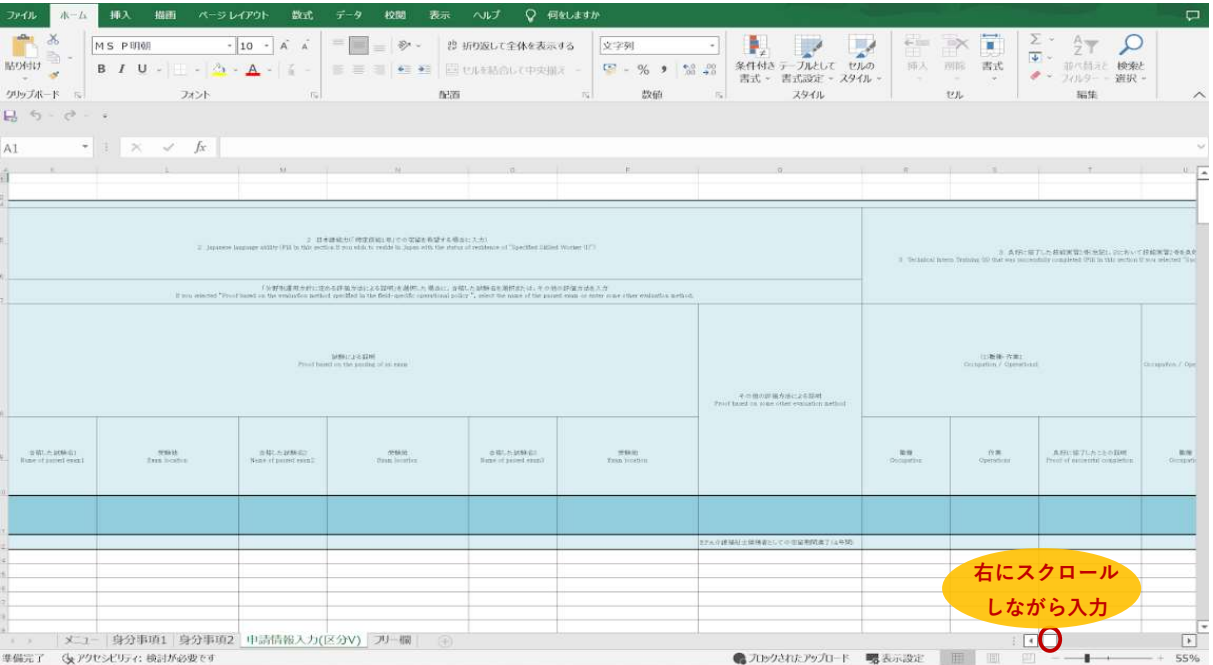
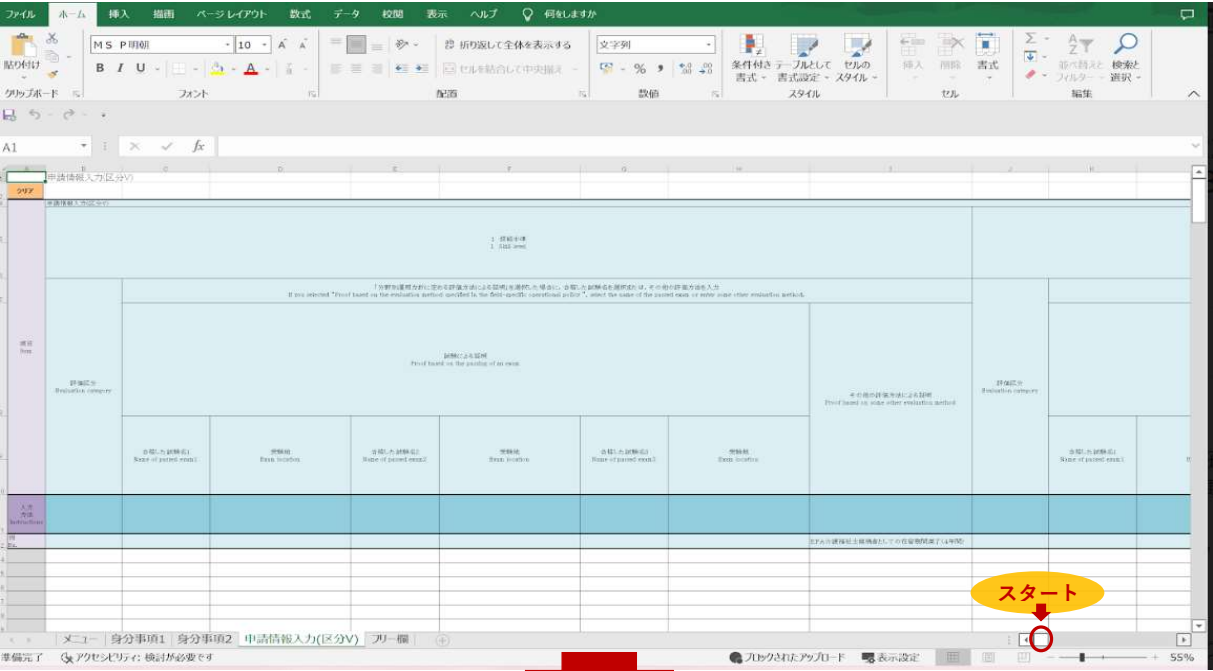
支払額（日本円に換算）

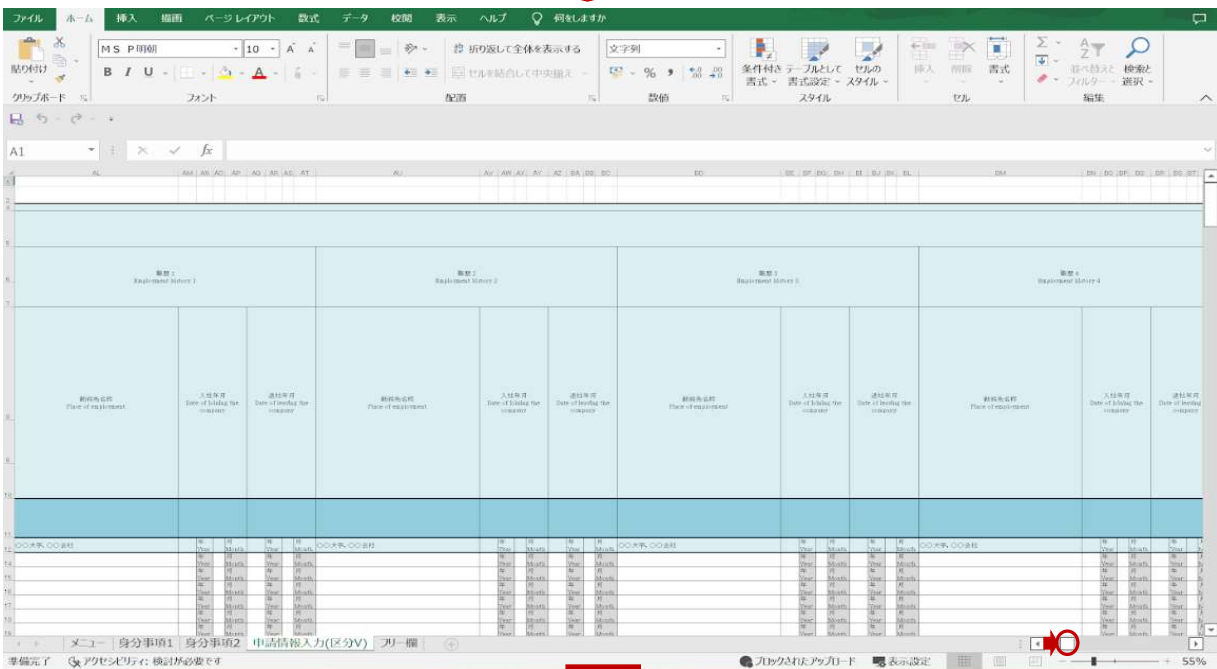
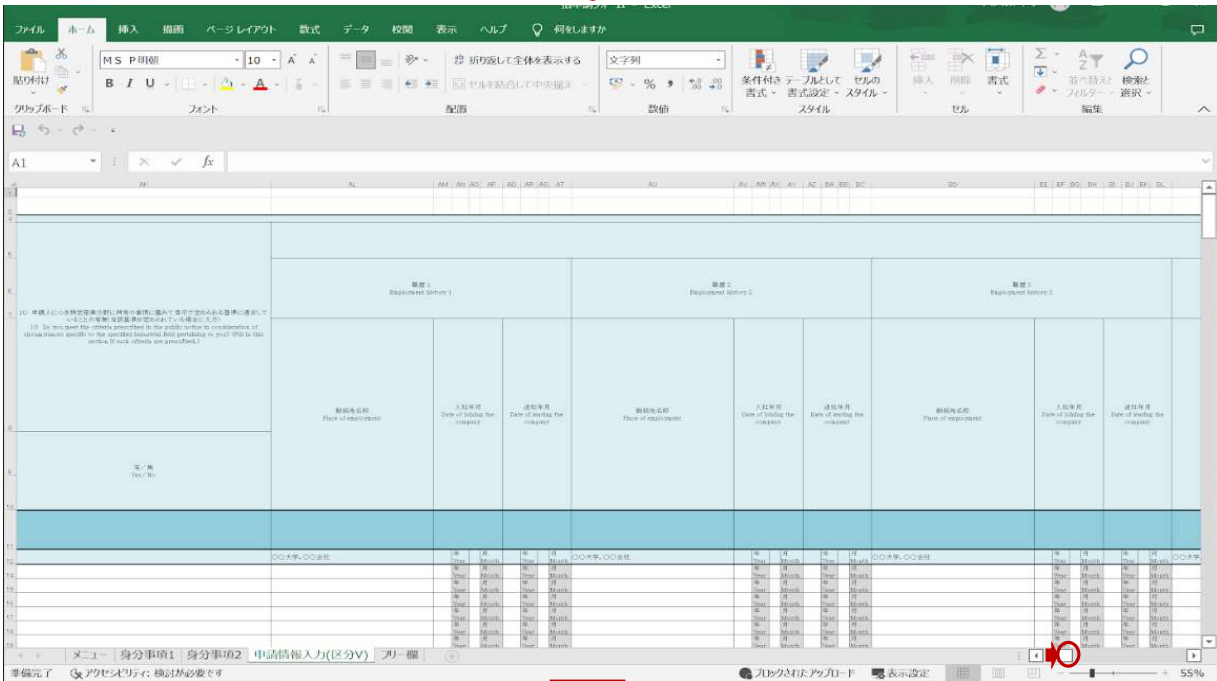
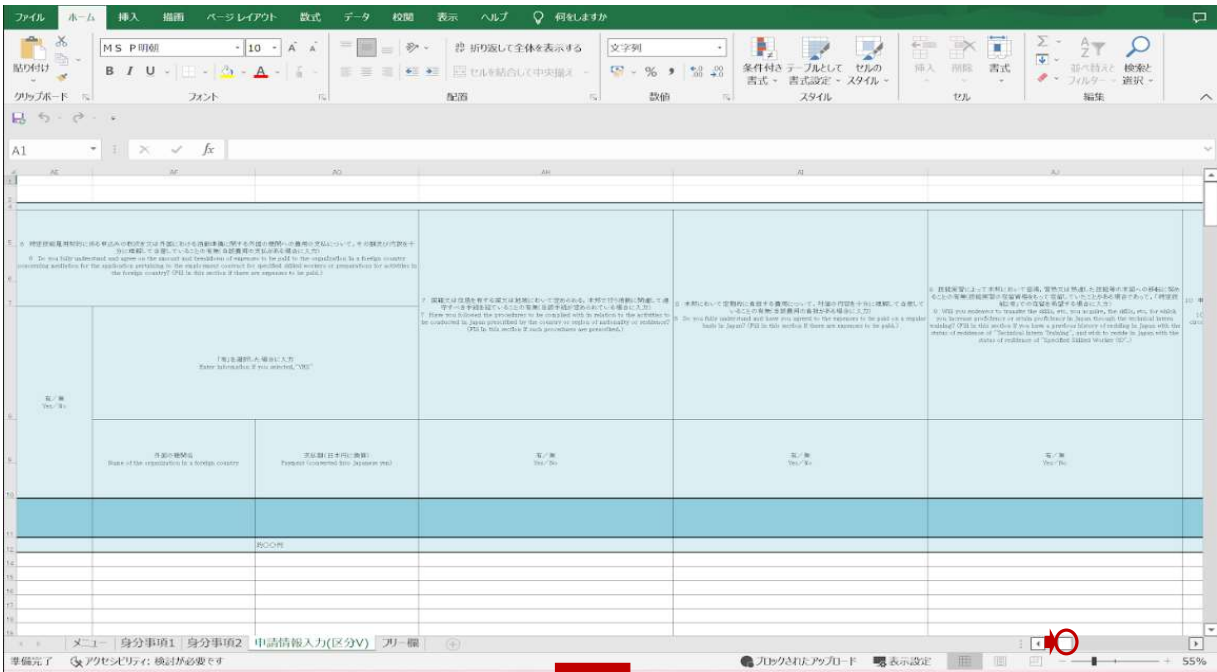
例)約〇〇円

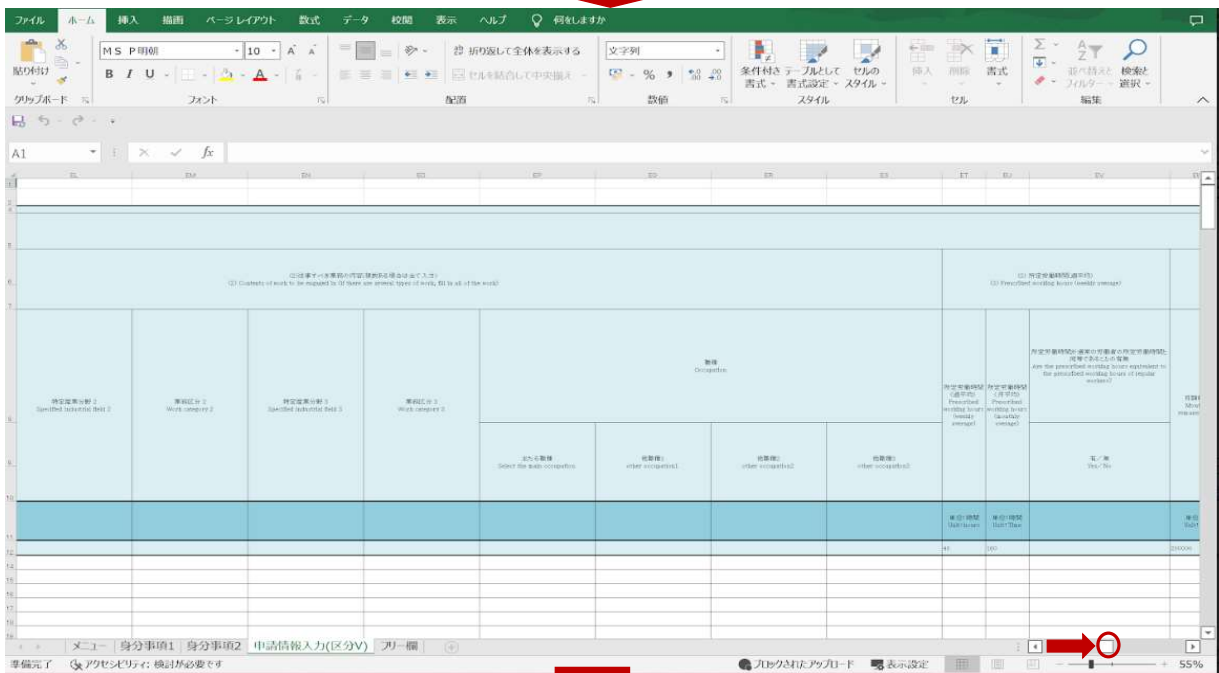
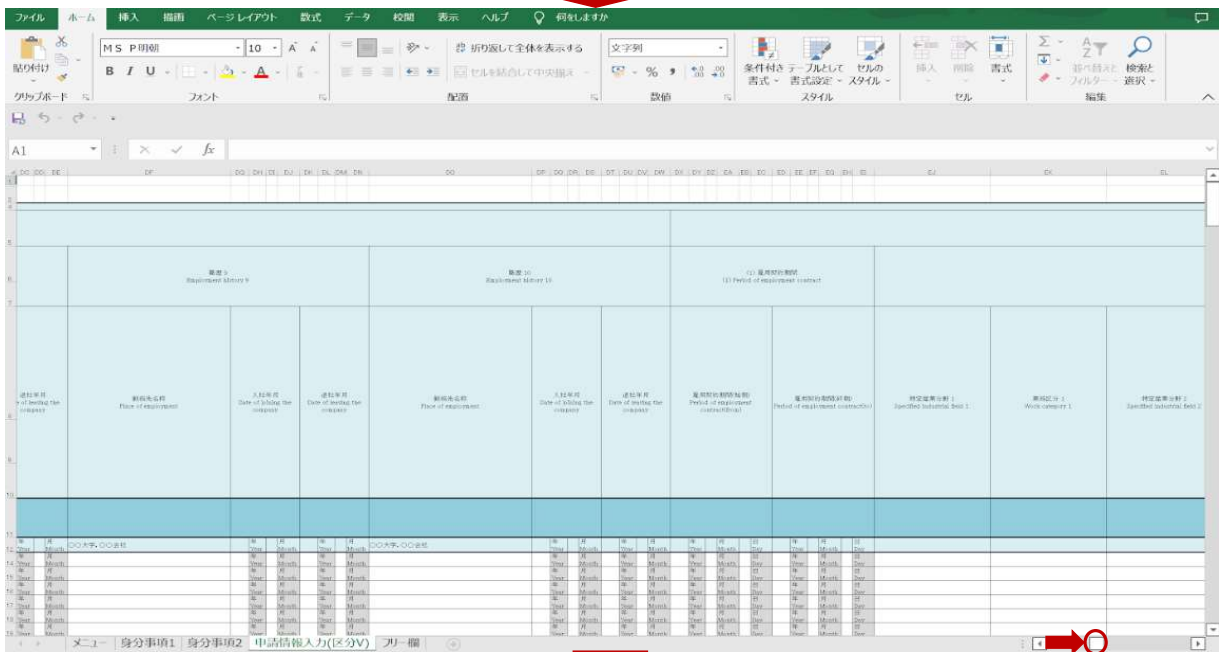
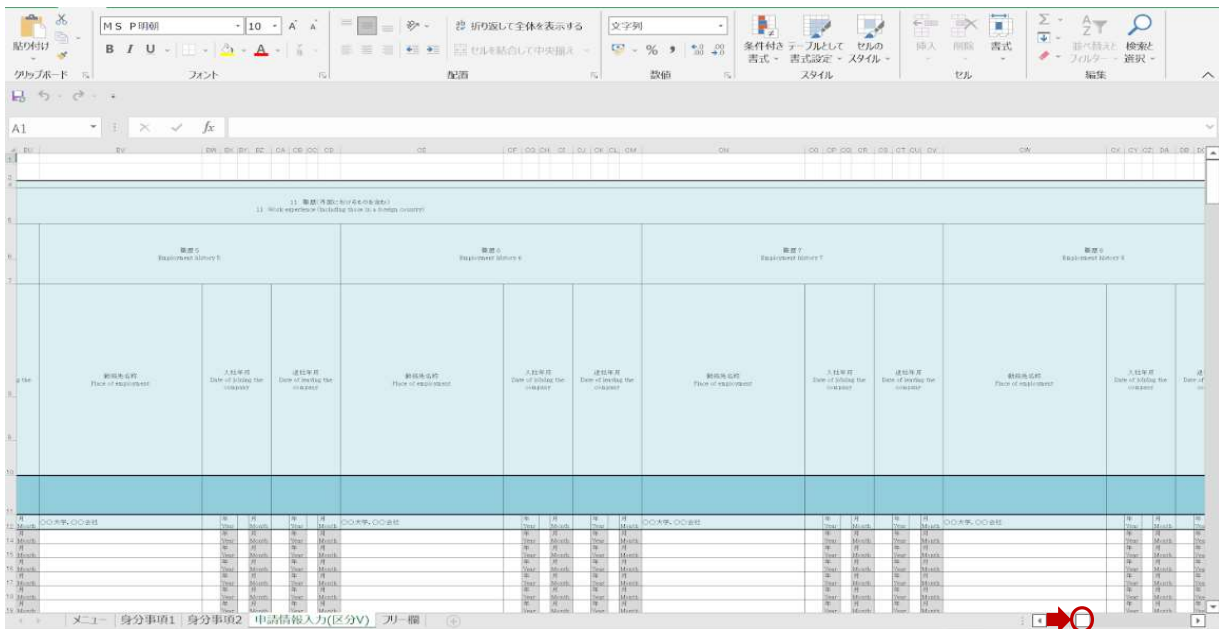
当システムの仕様では、この設問への回答が「入力しない（当該費用の支払いはない）」場合は、「有Yes」も「無No」のどちらもクリックをしないの仕様になっています。

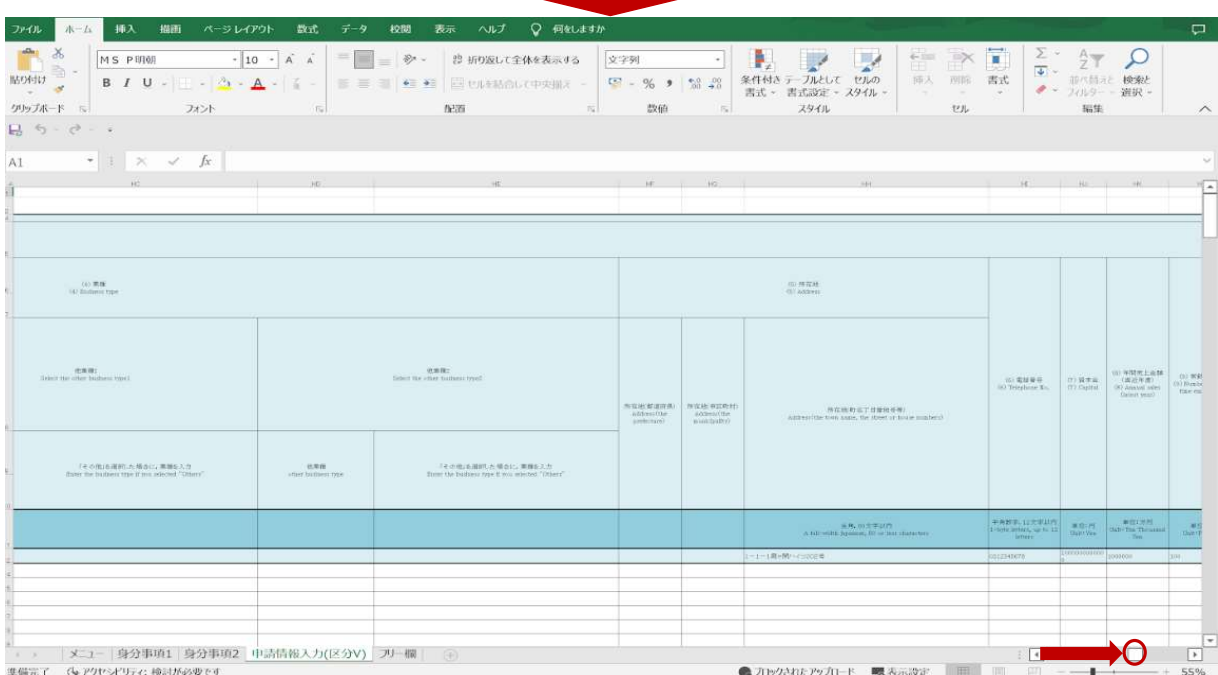
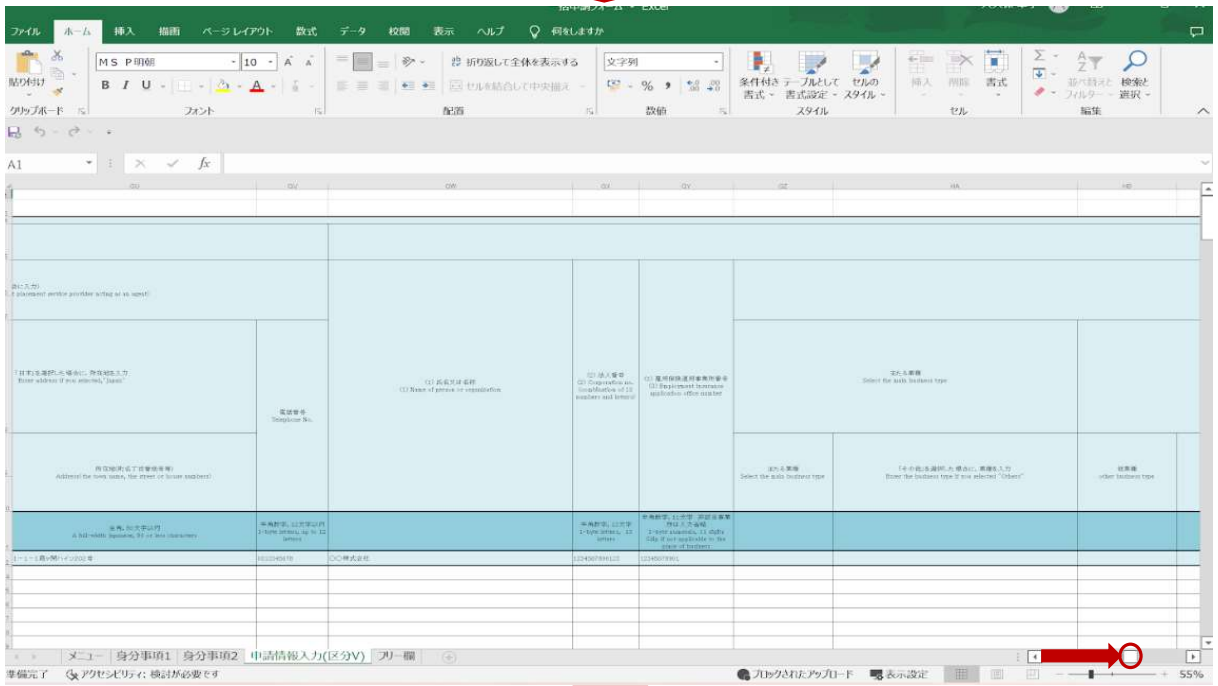
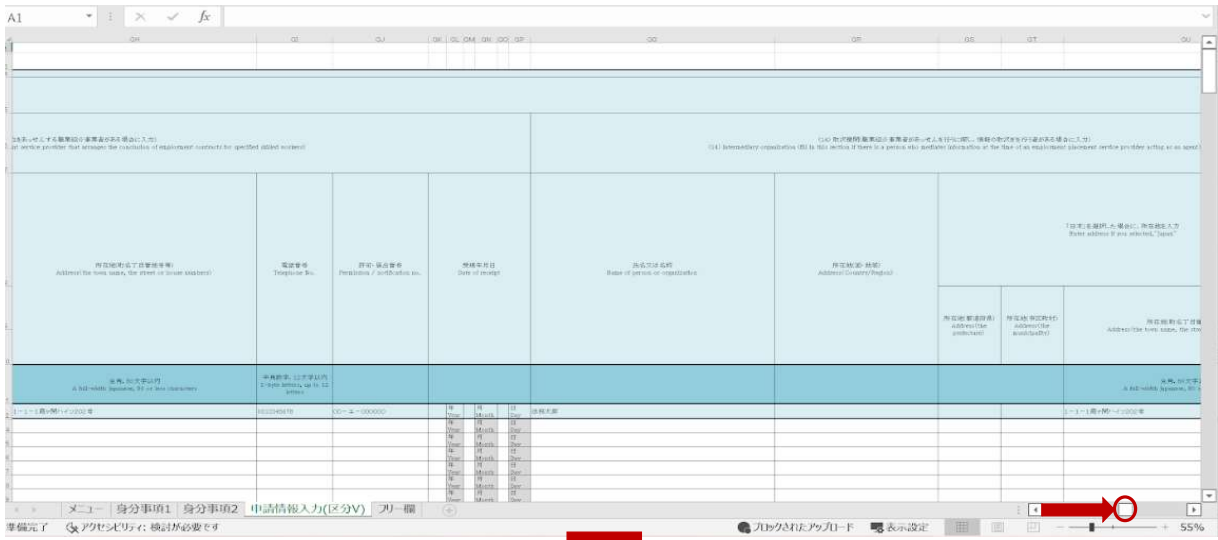
しかし、うっかり「無しNo」を選択してしまうと、ラジオボタンの取消ができない仕様になっているため、この申請をキャンセルをし、初めから入力をやり直さなければなりません。

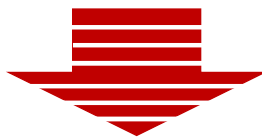
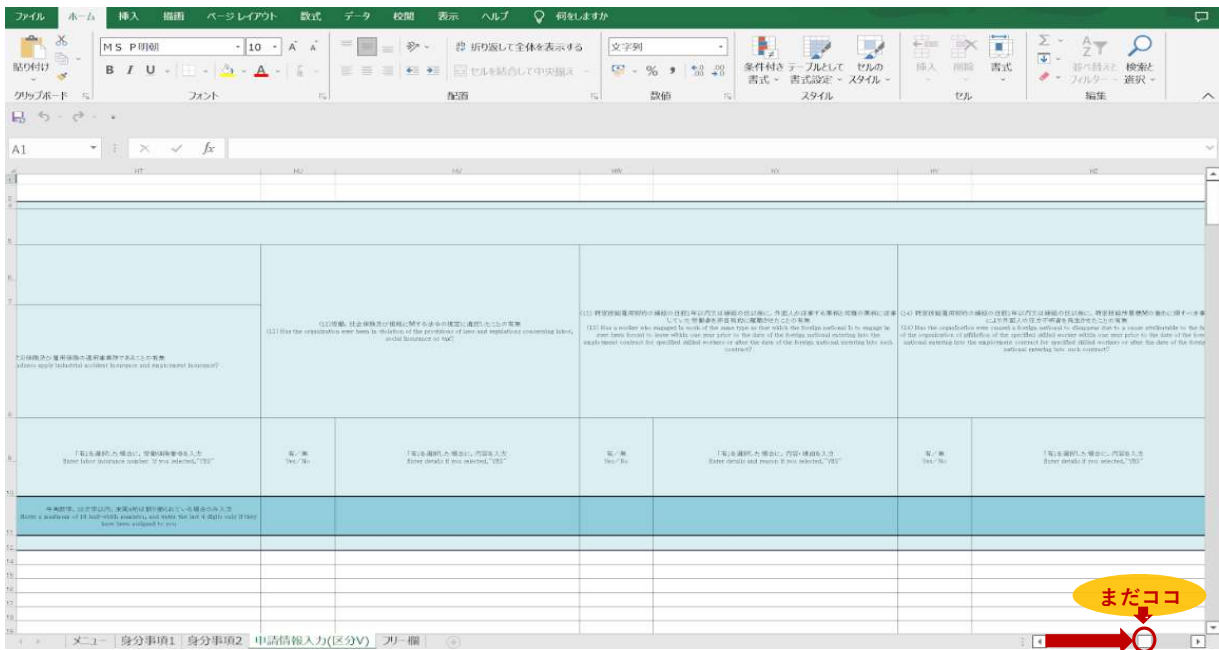
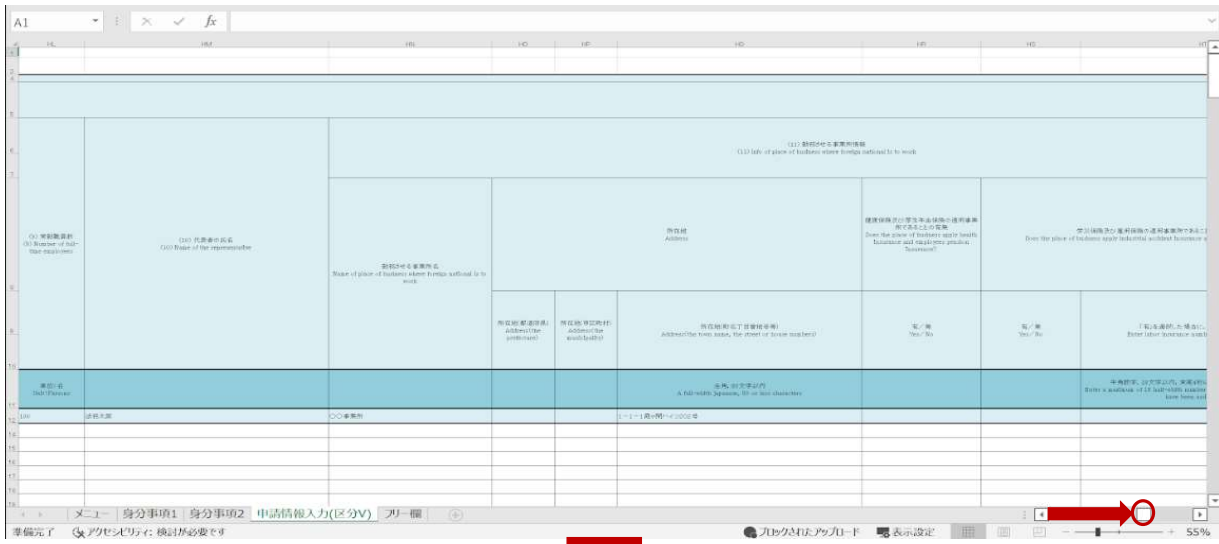
別添資料③：No.8について（一括申請フォームについて）





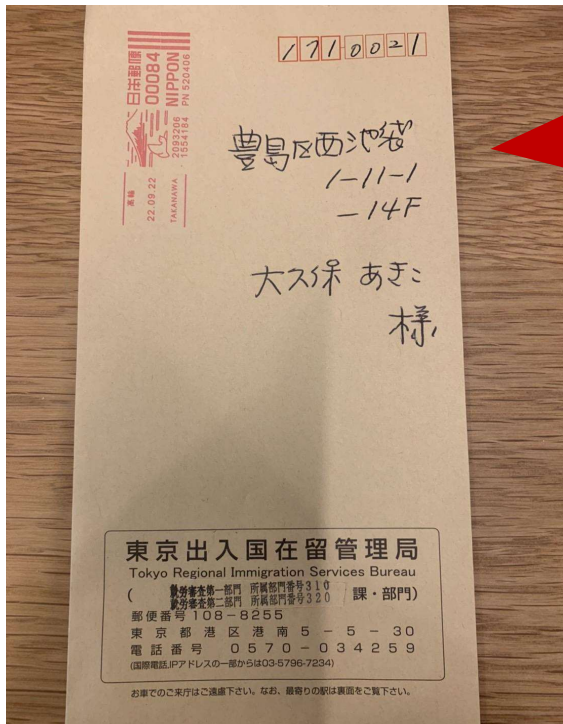






更に続く

別添資料④：No14、15について（担当者がシステムの仕様が分かっていないためか、郵送先が申請人宛かを把握していない）



- ・ビル名が無い
 - ・行政書士事務所名が無い
 - ・名前が間違っている
(正しくは大久保章子)
- トラブル（未着等）の元になります